



大井第一小学校

同窓会 会報23号

発行責任者 大野 正恒

令和3年7月

大井第一小学校の景色



ふらっと会の菊



主事さん作“大一大一 garden”



桜の下の「杜の哲学者」



ふらっと会の菊



チューリップ畑



整備された現在の
「大一の森」(ひみつの小径)
入口



右下に写っているのが
南極大陸の石



寄贈された南極大陸の石

第13回 同窓生の集い

鹿嶋神社祭礼の日、懐かしい「大井第一小学校」に
集まろう!! 会合・集合場所としてもご利用ください。

日時：令和3年10月17日(日)

11時～15時

会場：大井第一小学校 1階 多目的室

※中止の場合は、ホームページにてお知らせします。

対応力が試された一年

同窓会会長 大野 正恒

コロナ禍という「想定外」の変化
が起き、同窓生の皆様もその対応に
追われる日々とお察しします。同窓
会活動も行事の中止やリモート会議
実施等で変化に対応させられました。
本号ではコロナ禍での母校の状況
とその対応、東京オリンピック開催
にちなみ、前大会の同窓生の思い出
を記事にしました。今回クラス会報
告記事はありませんでしたが、今後
事態が好転し、次回の24号では同期
会・クラス会報告で溢れるようにな
ればと願っています。

コロナ禍を乗り越えて

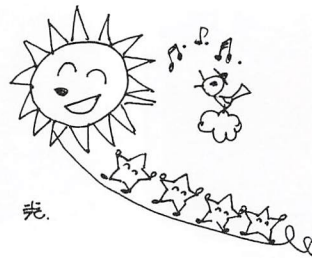
校長 藤森 克彦

令和二年度は新型コロナウイルスの影響で、長期の臨時休業のほか学校行事の変更や中止など、今まで経験したことのない対応に迫られました。同窓会の皆様からはいつも励まし支えていただき、本当にありがとうございました。

この間、子どもたちは学校がつまらなくなってしまうのではないかと互いに協力しながら集団としてまとまるための必要能力が十分身に付かないのではないかと心配しましたが、教職員は知恵を出し合い、子どもたちの健康安全を最優先に、学びの場を保障してきました。先が見えない不安はまだ続きますが、世の中の状況やニーズに柔軟に対応しながら、実りある教育活動を進めてまいりたいと思います。

さて、こうしたコロナ禍で様々な工夫や対応を進めてきました。特に運動会については、従来通りの実施が難しく悩みましたが、密集の状況を避けるためご観覧を控えていただくなど特段のご理解ご協力をいただき、新たな取り組みとして全児童による「大一体育祭」(無観客での運動会)を開催することができました。この「大一体育祭」は全学年オール四学級の特長を生かし、松(白組)・竹(青組)・梅(紅組)・月組(黄色組)ごとの四色クラス対抗で行いました。子どもたちはいつも以上に勝ちに

こだわり、大変盛り上がりました。何よりも練習や準備の段階から、学年を超えて互いに協力したり助け合ったりする力や、同じ目的に向かって頑張る雰囲気できたことは、学校にとって大きな収穫となりました。

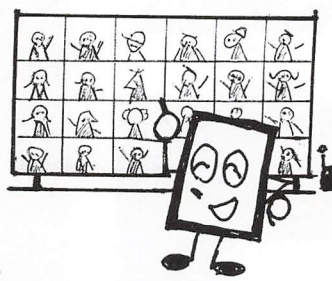


光

ただ、四色にしたときに心配だったことは、負けてしまったチームの「負の気持ち」を自分たちでどう処理していくかという点でした。教育の本質に迫る難しい部分ではありますが、そこを恐れ逃げていては子どもたちのさらなる成長は見込めません。そうした子どもたちの自浄力を伸ばす機会を、リベンジできる場も含めながら今後も考えていきたいと思えます。

もう一つ、学校の大きな変化としてGIGA(ギガ)スクールが始まりました。これは全学年児童一人一人にタブレット端末(パソコン)を配り、それを使って授業を行うというものです。想像していた以上に子どもたちは「ごく普通」に使っており、改めてデジタル世代だと実感しました。すでにパソコンを使った授業は、十年以上前から一部の学校で行われていました。当時は、教師が教材教具として子どもたちに画像や動画などを見せることが主流でした。その後、

パソコンの台数を増やすなどして漢字や計算練習などのドリル学習や、写真を撮つてあとで比べたり振り返って考えたりしました。また、従来は一人一人の考えを皆で出し合って結論を導き出すような場面では、紙の短冊に自分の考えを書いて黒板に貼りながら話し合っていました。それが今は、自分で考えや意見を入力すると、そのデータがインターネットを通して全員のタブレット端末に送られ、自分のタブレット端末に全員の考えや意見を見ることが出来ます。そうして集まってきた考えや意見を分類したり比較したり、プレゼンテーションに利用するなどしたりして、



光

容易に自分たちの結論や考えを創っていくことができようになるようになりました。今までの授業の多くは、先生が問題を出してそれに答えるという一問一答形式でしたが、様々な情報を集め自分たちで答えを生み出していくという場面もどんどん増えてきました。今回のコロナ禍で分かったことは、答えが必ずしもなかったり見えなかつたりするときに、我々は何を考え、どう判断し行動するかということです。まさに、自分たちで学習問

題を解決していく教育をどうつくっていくか、そこが問われているように思えます。

今後とも、大井第一小学校へのご支援をよろしくお願いいたします。

令和3年度の教職員の異動

I 退職 北條 宗子
主任教諭

II 転出 高橋 直之
主任教諭 (世田谷区立太子堂小学校へ)
清水 沙織
主任教諭 (港区立南山小学校へ)

教諭 菊池未希子
(港区立港南小学校へ)

令和2年度の児童の活躍

児童・生徒教育長表彰受賞 (部門スポーツ)

東京都OPEN水泳競技大会

50M平泳ぎ8歳以下第1位

200M個人メドレー8歳以下第1位

4年竹組 井田 優大

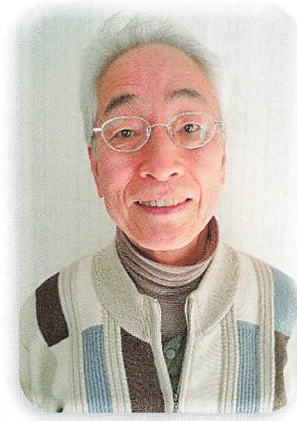
過去の成績が表彰されており、学年と学級名は表彰当時のものです。





夢はあきらめず
昭和33年月組卒

前山 隼志



前山隼志氏は、長年、音楽雑誌の「週刊FM」(71年〜91年)の編集に携わり編集長として活躍されました。シンガーソングライターの小椋佳氏とは親交もあり、「今語るあの時あの歌」という小椋佳氏にインタビューをした著書も出版しています。また、マドンナの初来日時には、独占インタビューにも成功されました。退職後も、プロデューサー等音楽関係の仕事をしていきます。

インタビュー 井上幸子

井上 大井5丁目にお住まいですが、いつ頃からお住まいですか？

前山 祖父の時代からなので100年くらいになります。父親は大工をしていました。

井上 小学生時代の思い出(学校での出来事・行事・遊び等)や何かエピソードはありますか？



前山 1年・原先生、2年・大崎先生、3・4年工藤先生、5・6年木村先生。木村先生のクラスの「だるま会」は、先生が亡くなられた後も続いています。同級生で南大井在住の石毛君の店「広華」でやるのが常となりました。小学校の思い出は、プールの所にあつたヒマラヤ杉。登ると海が見えました。運動会は、足が速かったので叔母がお弁当を作つて見に来てくれました。他には、音楽の佐治先生、木造校舎ですね。

井上 音楽関係のお仕事につくことになったきっかけはどんなことですか？

前山 両親が音楽好きで、ピアノやビオラを習わせてくれました。その前は、伊藤中でバンドを組みコンガをやっていました。大学浪人時代に様々なアルバイトを経験した後、クラシックに興味を持つようになりました。大学生時代にビオラを持つて歩いていたら、偶然というか、後ろから肩を叩かれました。そして声をかけて下さったのが、映画監督であり脚本家の木下恵介氏の弟で音楽家の木下忠司氏でした。オーケストラのエキストラを頼まれました。その後、木下氏の下で運転手としてアルバイトをしていた時に井上陽水や小椋佳のレコードと出会いました。それが音

楽著作権管理をしている水星社という会社で、後に音楽之友社へと進みました。ここでは「週刊FM」を創刊間もなくから廃刊まで、記事を書き続けました。中学生時代から文章を書くことが好きで、新聞記者になりました。好きな音楽と文章を書くという両方の夢が叶ったという事になりますかね！



さだまさし氏と小椋佳氏の両者の知人でもあった前山氏は共演のきっかけを作り対談をコーディネートしました。

前山氏写真提供

前山 感性から生まれる物には魅力があり、心打つものがある。「好きこそもの上手なれ」というように、個性を大切に伸ばし、夢はあきらめずにチャレンジすることが大事です。さだまさし氏も「強い夢はかなう」と言っています。

井上 退職後、福祉関係のお仕事を始められたと伺いましたが？

前山 数年前、介護送迎ドライバーを2年間くらいしていました。その後は、旧職の関係で本を書いたり、ペンネームで作詞作曲などもしています。また、カラオケ教室の講師もしているので、時々、生徒の発表会の企画・運営等もしています。



自室は大勢のお孫さんたちの写真や絵で埋め尽くされています。また、数多くのレコードやCD、立派なステレオ・スピーカーも備えてありました。

2時間半にわたり興味深い楽しいお話を聞かせていただきました。本誌面では、ほんの一部分しか掲載できませんでしたが、また、何かの機会に披露できればと考えています。



取材日
令和3年
3月11日
会報委員
大野・井上

オリンピック特集

昨年の開催が延期となり、やっと今年はオリンピックイヤーということで、世界中が東京オリンピックに注目しています。そこで、本誌では1964年の東京オリンピックの思い出と今年の東京オリンピック・パラリンピックへの期待等について、同窓生の方にお伺いしてみました。



- ① 1964東京オリンピックで印象的だった競技があればお答えください。
 - ② 1964東京オリンピックの思い出があれば教えてください。
 - ③ 2020東京オリンピック・パラリンピックで期待する競技名または選手名を挙げてください。
- (選手名敬称略)
- 昭和26年竹組卒 栢原 康郎**
① 「東洋の魔女(女子バレー)」と「鬼の大松」
- ② 開会式当日の真っ青な空、新しい日本Ⅱ高度成長時代の幕開けを象徴するような日でした。(当時私は社会人2年生)
- ③ 水泳の池江璃花子選手とバドミントンの桃田選手
- 昭和34年雪組卒 森 秀雄**
① 全ての競技において、勝者の栄光、笑顔。敗者の落胆。

② 開会式の完璧な青空。ブルーインパルスの描いた五輪マークの飛行機雲(家からも見えた)。子どもを使った演出。閉会式 国、人種、宗教を超え、なだれ込むように入場してきた選手達、それを伝えるNHK土門アナウンサーの実況に感動。

- ③ 男子400Mリレー
- 昭和35年竹組卒 住友 光男**
① 柔道の神永がヘーシンクに負けた瞬間(敗者復活戦でも負けた瞬間)
- ② 国立競技場の200M予選を見に行って退屈したこと。水泳でアメリカが(シヨランダールをトップに)金メダルを量産した結果、アメリカ国歌が耳にこびりついたこと。
- ③ 水泳の瀬戸選手
- 昭和35年竹組卒 平林 幹夫**
① 印象的な思い出はやはり女子バレーボールでしょうか、そしてマラソンですね、テレビがあることがありがたい時代でしたね。
- ② 当時は高校生、団体が国立競技場に行きました。広くて手前しかわかりませんでした。市川崑の映画を見て、また思い出しています。
- ③ テロ事件など無く無事にすべてが終わることを祈ります。
- 昭和35年梅組卒 杉本 晴重**
① やはり1番は女子バレーかな。「ボールを拾って拾って」は印象的。
- ② 2番は男子マラソン、裸足のアベベにはびっくり。後日の円谷さんの自殺にはショック。競技ではないが、坂井選手の聖火点火は印象的。

② 学校(当時高校生)を休んで、当たった水泳競技を代々木に見に行った事。

- ③ バドミントンの桃田と、卓球の伊藤。
- 昭和39年月組卒 大野 正恒**
① 女子バレー、初めてのオリンピック競技でいきなり金メダルで感激しました。当時中学生でしたが、影響を受けて高校でバレー部に入りました。男子バレーは次回のミュンヘンで金メダルを取り、バレーの全盛期になりました。
- ② ボーイスカウトで国旗の掲揚等で参加しました。そのため大威張りで授業をずる休みできました。ネパール国旗のたみ方がわからず苦労した思い出があります。
- ③ バドミントン・卓球に期待。
- 昭和39年月組卒 榊原 恵**
① マラソンの円谷が国立競技場のトラックでイギリスのヒートリーに抜かれて3位になって悔しかったことを覚えている。結局、陸上競技でメダルをとれたのはそれだけだった。
- ② 中学1年だったが動員で駒沢競技場にホッケーを見に行った。グラウンドの芝生(当時は珍しかった)がきれいだったことを鮮明に覚えている。今回のホッケー会場が大井になったことに因縁を感じている。
- ③ 新競技の空手に期待しています。



医療法人財団 太光会
内科・循環器内科・ペインクリニック
柿島 医院
【診療時間】 月曜日 8:00~14:00
火曜日・木曜日・金曜日 9:00~12:30 15:00~19:00
土曜日 9:00~12:30
【休診日】 水曜日・日曜日・祝日
大井3-21-10 ☎3775-5171

医療法人社団公孫堂
内科・循環器内科・糖尿病内科 **安澤 医院**
〒140-0014 東京都品川区大井5-14-4
TEL. 03-3772-5757 FAX. 03-3772-5655

同窓生割引有
新社屋完成記念キャンペーン実施中
70th Anniversary
大井第一小学校前 小出不動産
相続問題から土地の有効利用など 不動産の事ならお任せください!
☎0120-513-117
140-0014 東京都品川区大井5-10-9

昭和39年月組卒 白土 えり

① 日本女子が優勝したバレーボール東洋の魔女と命名されたこと。
② 快晴の空にブルーインパルスが描いた五輪
③ 野球、ゴルフの松山英樹

パラリンピックテニス

昭和40年梅組卒 木村 穂良

① 遠藤幸雄の体操(個人総合)、池田敬子の体操(個人総合)、桜井孝雄のバントム級ボクシング、神永昭夫、猪熊功の柔道、女子バレーボール、岡谷幸吉・アベベのマラソン、田中聡子の女子背泳ぎ、依田郁子の女子ハードル、山中毅の男子自由形、ベラ・チャスラフスカの体操

② カラーTVで競技を観たこと。競技名は忘れたが、国立競技場に予選を観に行ったこと。聖火ランナー応援のための鼓笛隊の厳しい練習をこなした事。

③ 陸上400Mリレー、バドミントン、卓球、トランポリン、スポーツクライミング、馬術

昭和42年梅組卒 大山 義広

① マラソン
② 聖火リレーを第一京浜で見物している時に、雨が降り出したこと。
③ テニスのノバク・ジョコビッチ

昭和42年梅組卒 井上 幸子

① アベベとチャスラフスカ
② 真っ青の空に描かれた五輪
③ 柔道の阿部詩、日体大を見学した時に、体育館内周回コースで練習中の姿を見たので。

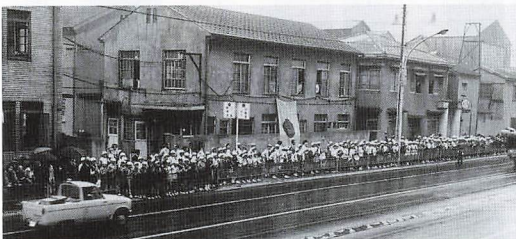
1964年第18回 東京オリンピックの想い出

昭和40年梅組卒 木村 穂良

当時6年生で鼓笛隊の一員として聖火リレーの応援に行つた思い出のある私が、56年前の僅かな記憶を振り返ってみたいと思います。

東京は聖火リレーが3コース(①山梨コース、②神奈川コース、③埼玉コース)あつて旧都庁で合流ですが、そのうちの神奈川コースが大田区から第一京浜国道を北上して旧品川区役所を左折して山手通りを目黒区側に走って渋谷区、港区を抜けて旧都庁に行くコースでした。3コースは10月7日、9日に走りましたが3日間ともあいにくの雨、あの小雨の10月8日に第一京浜国道沿いに我が大井第一小学校の鼓笛隊が応援に行つたのです。確か笹井先生と北川先生かな、熱心にご指導されました。

第一京浜国道立会川付近で応援をする児童



鼓笛隊の演奏と大観衆の中を、白煙をもうもうと上げながらオーブンカーに先導され白バイの聖火ランナーの1団が2列で走り過ぎていきました。一団は、聖火ランナー正

運動会でも活躍していた鼓笛隊



1名、副2名、女子4名、伴走13名の計20名だったと思います。男子はランニングシャツ、女子はTシャツ、共に短パン姿で服装も靴下そして靴まで全身白一色に統一された今では考えられない模範的なアマチュアスポーツマンの姿で、胸

に赤い大きな日の丸と五輪マーク(当時は5色でなく黒色)が描かれていました。鼓笛隊の演奏は響いたのでしようが、旧品川区役所あたりで約4万5千人という記録が示すように大観衆の声援にほとんどかき消されてしまったのではと思つています。それでも私たちは一心に笛を吹き、鉄琴をたたいて、訳のわからないうちに聖火ランナーの1団は通り過ぎて行つたのです。

しかし開会式の10月10日は奇跡的に快晴となつたのです。午後1時47分に各国旗が一齐に掲揚され開会式が開始され各国選手団が入場、そして、ご記憶にある通り坂井義則さんが白い煙を長く引いて階段を駆け上り私たちが応援した聖火が聖火台上に灯されたのです。

地元 に 奉仕 する 店

Acc 21 (有) アクツ電気

本店 品川区大井 3-5-7 (三ツ又本通り) ☎ 3773-1062

リフォーム・各メーカーの修理承ります

割烹 とんかつ

ひろせ

お座敷一間にて60名様がお座りいただける宴会に対応しております。お弁当、お届けしております

品川区大井 4-1-2 TEL 3771-7466 FAX 3778-7693

企画・デザインから製本までの一貫したシステムで皆様のお手伝いをいたします。

京浜印刷株式会社

◆営業品目◆
パンフレット チラシ
広報誌 封筒
プログラム ポスター
その他製本まで

〒140-0013 東京都品川区南大井4丁目7番3号
Tel:03-3763-7321(代表) Fax:03-3764-6839 E-mail:keihin@sirius.ocn.ne.jp

24時間 365日 対応
お電話ください

品川合同葬祭株式会社

代表取締役 猪飼 英介

霊安室完備
事前相談承ります

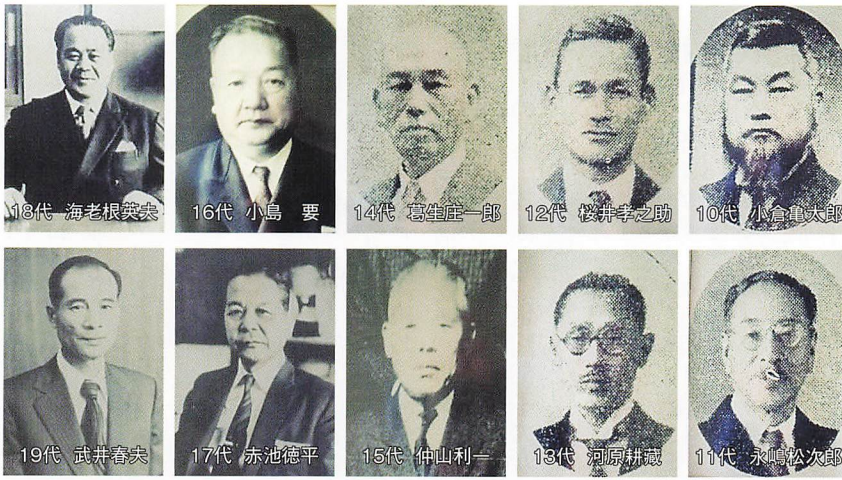
☎ 03-120-478-594

東京都品川区東大井5-25-19

★歴代の校長先生紹介★

明治8年に来迎院で開校した母校が、昨年145周年を迎えました。そこで今回は、歴代の校長先生のお顔を紹介させていただきます。ただし、初代から9代目の明治時代の先生方の写真は残念ながらありませんので、名前だけの紹介になります。(敬称略)

初代・中島慈誓、2代・積山欽三、3代・大森恒、4代・杉本仙太郎、5代・宮田源之助、6代・那須春喜、7代・山岸三次郎、8代・島田則正、9代・長谷川源作



★お知らせ★

正門の表札が変わりました。



★開校145周年★

昨年は開校145周年を迎えましたが、コロナ禍の影響もあり、同窓会においても「同窓生の集い」の中止等イベントを開くこともできず過ぎてしまいました。そのような中、PTAでは記念品を作り子どもたちにお祝いしましたのでここに紹介いたします。



校章と松竹梅月のクラス名が入ったハンドタオルと全児童集合写真が箱に印刷されたお菓子が配られました。

第15回総会報告

日時 2021年5月22日(土) 14時
リモート総会 出席者 10名
一、会長挨拶 出席者 10名
二、来賓挨拶 大野 正恒
藤森 克彦 校長
倉次 里絵 副校長
加藤 高嗣 副校長

三、議事

- ① 事業報告・収支決算報告及び監査報告の承認
- ② 事業計画及び収支予算の承認

第16回総会のお知らせ

日時 2022年5月28日(土) 14時
場所 大井第一小学校

* 通常総会を毎年5月の第4土曜日に開催することになりましたが、都合により変更になる可能性もありますので、ホームページにてご確認の上、ご出席願います。

- ③ 会則の一部改正の承認
 - ④ 役員改選の承認
- 以上の議事について承認されました。詳細報告はホームページをご覧ください。

2020年度収支決算書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日現在 単位:円)			
項目	金額	項目	金額
(収入の部)		通信運搬費(事)	393,030
会費収入	1,176,051	クラス会補助金(事)	10,000
入会金収入	40,800	事業費雑費	20,000
寄付金収入	90,000	事業費計	1,005,277
雑収入	13	[管理費]	
①当期収入計	1,306,864	会議費(管)	2,120
(A) 前期繰越収支額	2,281,027	通信運搬費(管)	0
②収入計	3,587,891	事務用品代(管)	15,824
(支出の部)		管理費雑費	3,903
[事業費]		管理費計	21,307
同窓生の集い費(事)	0	③当期支出計	1,026,584
会報出版費(事)	572,463	(B) 当期収支額(①-③)	280,280
広報費(事)	7,784	[当期特別支出]	
名簿管理費(事)	0	次期繰越収支差額	2,561,307
会議費(事)	2,000	(A)+(B)	

同窓会会員通信欄

昭和15年月組卒 代田 益穂
 ○永く続いたクラス会、今年はコロナに負け、来年にかけます。

昭和16年竹組卒 小島 昭信
 ○開校145周年、誠におめでとうございませう。大一のますますのご発展と皆様のご多幸をお祈りいたします。

昭和18年松組卒 原 睦夫
 ○10月の集い、できたらぜひ参上したいと思ひます。「三密」もその頃には大丈夫になっていることを祈ります。

昭和19年竹組卒 金内 利夫
 ○できれば同窓人の生死が知りたいのですが。

昭和19年雪組卒 中村 裕子
 ○母裕子、昨年88歳にて天寿を全う致しました。同窓会の皆様、ありがとうございました。 (中村正彦)

昭和23年松組卒 大野 順子
 ○戦前より兄弟、姉妹六名がお世話になりました。コロナに負けず元気で前進して下さい。

昭和24年梅組卒 増井 庸子
 ○いつも会報をお送りいただき楽しく拝読しております。体調を崩し治療、加えて家族の入院手術ですっかり失念してしまいました。会費遅くなりましたことをお詫びいたします。

昭和25年梅組卒 吉村 陽子
 ○なつかしい母校の思い出は松崎先生と共に忘れることはありません。

昭和28年雪組卒 曾根田久江
 ○私って、いい小学校卒業したのだなあとつくづく幸せを感じます。大井第一小学校に入学卒業、誇りに思ひます。すばらしい学校で、会報よむと同窓会幹事の方々のご苦労が……。お世話になりましたありがとうございます。

昭和30年梅組卒 木村 親光
 ○小学校卒業してからはや65年、いつも同窓会会報楽しみにしております。ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。「今朝もまた母校の桜 変わりなく」

昭和35年雪組卒 松崎 恵子
 ○新型コロナウイルス感染の最中、会報の準備を下さり、ありがとうございます。一日も早く、普通の生活が出来ることを願っています。子供達の為にも……

昭和36年雪組卒 中島 紘子
 ○会報を楽しく拝読しております。いつもありがとうございます。

昭和42年竹組卒 村田 新輔
 ○会の運営において幹事の皆さまのご尽力に感謝いたします。ありがとうございます。

昭和42年雪組卒 伊藤 啓子
 ○会報を毎年楽しみにしていた父(昭和16年松組卒川中康弘)でした。

第24代校長 兒玉 潔夫
 ○会報22号にも掲載していただきましたが令和元年9月7日旅立ちました。今までいろいろ有りがとうございました。(妻)

物故者

情報をお願いした方を順次掲載してまいります。謹んでお悔やみを申し上げます。

卒業年組 氏名 逝去年月日

元教員	石井正夫	H 28 5
元教員	長谷川千鶴	R 元 5
元教員	新村暁代	R 3 1
元教員	松元久子	R 2 6 5
T 14	篠田満州子	R 3 3 1
S 11 雪	馬場甲子	R 3 3 12
S 12 竹	落合盛夫	R 2 10 17
S 12 竹	武下 一	R 2 3 21
S 12 月	天谷 正	R 2
S 14 梅	山田康子	R 元 5 13
S 16 松	川中康弘	R 2 3 6
S 16 竹	今井孝次	R 2 1 20
S 17 梅	沖山あい	R 2 7 16
S 19 雪	中村裕子	不詳
S 21 男	古賀完一	不詳
S 24 梅	松林二郎	R 2 2 12
S 26 松	下川純弘	R 2 3
S 26 竹	中根建郎	R 元 8
S 28 梅	萩原 廣	H 28
S 32 雪	横尾修三	R 2 12 30
S 35 星	笠原幸生	R 2 7
S 38 月	小松原健太郎	H 20 7 22

*旧教職員・同窓生の逝去を連絡いただいた場合、同窓会名簿

を訂正して、この「物故者」欄にて掲載いたします。



 クラス会・同期会支援

クラス会・同期会を開催され、左記の事項にご協力をいただいた場合は、同窓会より補助金を差し上げます。

当補助金制度の仕組み

- ①クラス会・同期会報告投稿
 - ・開催報告記事(400字以内)
 - ・出席者の集合写真(数名以上)
 - ・クラス又は同期の最新名簿
 - ・幹事の卒業年・氏名・住所
- ②幹事へ補助金5千円送付
 - 投稿の到着後現金書留にて送金
- ③回数と期限
 - ・1クラス会又は1同期会につき1回/年
 - ・2021年4月〜2022年3月20日まで投稿受付
- ④送付先 大野正恒宛

*尚、投稿していただいた記事と写真は同窓会会報又はホーム・ページに掲載いたします事をご了承下さい。

同窓会会報に 広告を掲載しませんか

- ・サイズ 縦3cm×横9cm
- ・掲載費 一枠 一万円
- デザインは既存の物でもオリジナル作成の物でも構いません。
- 申し込み先 井上のPCアドレスへ

